

事業再評価調書

事業名	大規模特定砂防等事業(火山砂防)	地区名	矢の平川	所在地	長崎市																																			
評価年度	令和6年度	事業主体	長崎県	担当部課名	土木部砂防課																																			
事業概要	(1)事業目的 当該箇所は長崎県長崎市中心部の矢の平町1丁目に位置し、保全対象として人家46戸、市道379mを含む土石流危険渓流である。流域内が荒廃し、土砂や流木が流出する土石流災害が発生する恐れが高いことから、砂防施設(1基)、渓流保全工の整備により土砂災害を未然に防止するものである。 (2)主な事業内容 <table><tr><td></td><td></td><td>(前 回)</td></tr><tr><td>砂防えん堤</td><td>N=1基</td><td>(1 基)</td></tr><tr><td>渓流保全工</td><td>N=1式</td><td>(1 式)</td></tr></table>							(前 回)	砂防えん堤	N=1基	(1 基)	渓流保全工	N=1式	(1 式)																										
			(前 回)																																					
	砂防えん堤	N=1基	(1 基)																																					
	渓流保全工	N=1式	(1 式)																																					
	着工年度	前回再評価年度	計画変更年度	完成予定年度		休止期間																																		
			着工時	前回再評価時	計変時		再評価																																	
H24	—	—	H29	R8	—	R9	—																																	
事業費	全体事業費(千円)				前年度まで	進捗率																																		
	着工時	前回再評価時	計画変更	再評価時	(千円)	(%)																																		
	500,000	700,000	—	900,000	616,155	68.5																																		
事業の進捗	(1)整備効果の発現状況(供用開始など) 平成24年度から測量、地質調査、設計、事業用地の取得を実施し、現在は、砂防堰堤の工事を実施中であり、その後、渓流保全工の工事に着手する予定である。 (2)未着工及び工事遅延等の理由及び解決の見通し ・堅岩部の掘削作業の大幅増加により、工事遅延が生じている。 (3)関連事業の整備状況 関連事業は特になし。																																							
	評価 AA ・ A ・ B ・ C																																							
社会・経済等の情勢及びその状況変化	(1)地元(受益者、市町村等)の意向 地元より早期の事業完成を求められている。 (2)自然や生活環境保全の観点で特記すべき事項 特になし (3)事業が地域に及ぼす効果 本事業は、保全対象に市道、人家46戸等の施設があり、土石流が発生した場合には甚大な被害を及ぼすと想定される。当事業を推進することで当地区の安全安心を確保するとともに、安定した社会経済活動に効果を発揮するものである。 (4)事業に関連する評価・指標等 <table><tr><td></td><td></td><td>前回評価時</td><td>再評価時</td><td>評価</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="2">必要性</td><td>受益面積</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>受益戸数</td><td>46</td><td>46</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>重要性</td><td>地元要望の有無</td><td>有</td><td>有</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>緊急性</td><td>緊急度合</td><td>市道</td><td>市道</td><td>高</td><td></td></tr><tr><td>経済性</td><td>投資効果</td><td>4.41</td><td>3.33</td><td>高</td><td></td></tr></table>							前回評価時	再評価時	評価	備考	必要性	受益面積					受益戸数	46	46	○		重要性	地元要望の有無	有	有	○		緊急性	緊急度合	市道	市道	高		経済性	投資効果	4.41	3.33	高	
			前回評価時	再評価時	評価	備考																																		
	必要性	受益面積																																						
		受益戸数	46	46	○																																			
	重要性	地元要望の有無	有	有	○																																			
緊急性	緊急度合	市道	市道	高																																				
経済性	投資効果	4.41	3.33	高																																				
評価 AA ・ A ・ B ・ C																																								
[土木部としての総合評価と対応方針]																																								
総合評価	事業継続 事業見直し継続 休止 中止																																							
総合評価に係るコメント																																								

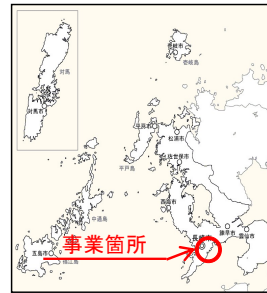
令和6年度 第2回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

砂防－1
大規模特定砂防等事業
(火山砂防)
やのひらがわ
矢の平川

事業主体 長崎県

再評価
の理由 再評価後変更



1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H24新規)		H24	H29	5.0	3.82	砂防えん堤 N=1基 渓流保全工 N=1式
第1回審議 (R3)	事業採択後 10年経過	H24	R8	7.0	4.41	砂防えん堤 N=1基 渓流保全工 N=1式
第2回審議 (R6今回)	再評価後 変更	H24	R9	9.0	3.33	砂防えん堤 N=1基 渓流保全工 N=1式

2

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

○目的、事業概要

荒廃した流域であり、土石流災害を未然に防ぐため、砂防堰堤工1基、溪流保全工1式の対策を行うものである。

○経緯

H23:地元自治会より事業要望

H24:事業開始

R 3:10年目再評価(事業継続)

R 6:今回、事業費及び事業期間延長により再評価審議

・測量、調査、設計、用地取得を経て、現在、砂防えん堤1基の施工中である。



溪流状況



施工状況(令和6年3月)

3

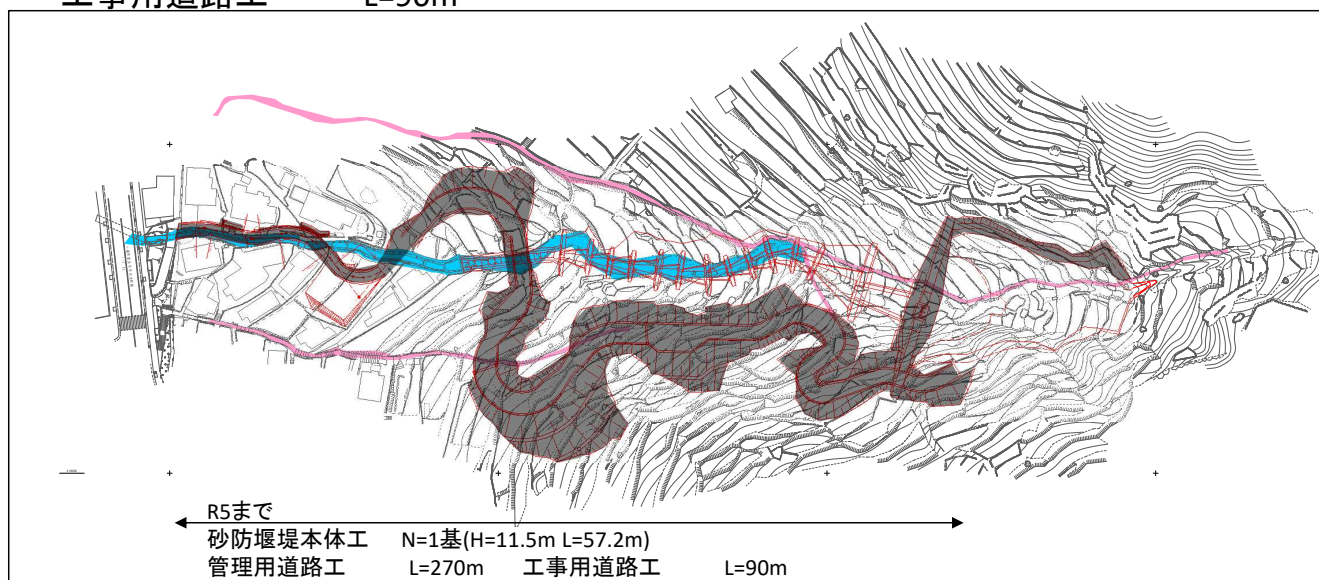
2. 目的・事業概要・これまでの経緯

事業概要

砂防堰堤本体工	N=1基(H=11.5m L=57.2m)
溪流保全工	L=120m
管理用道路工	L=270m
工事用道路工	L=90m

事業進捗率

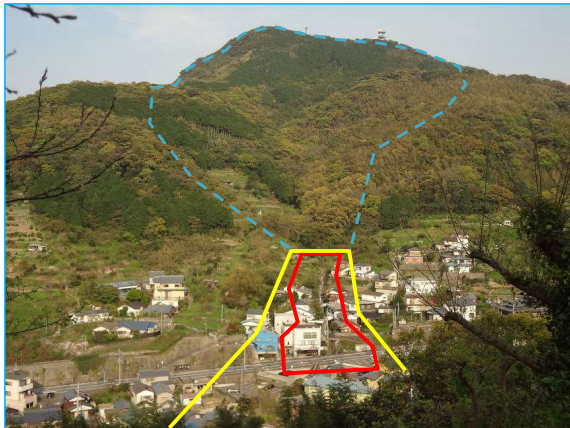
事業費ベース	68.5%
用地費ベース	100%



4

3. 事業の効果・必要性

- ・ 保全対象としては土石流が発生した際に被害が及ぶ土砂災害警戒区域内に人家46戸や市道など重要な公共施設を含む。



保全対象

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



1級市道 矢の平白木町線

5

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費】7億円(前回)→9億円(変更)

○掘削工法変更 +1.0億円

- ・ 想定外に広範囲に分布していた堅岩部(中硬岩相当)の掘削



粉塵を巻き上げながらのブレーカー
破碎状況



破碎岩の状態

○労務費等の増 +1.0億円

- ・ 労務費や資材価格の上昇内容 (※直接工事費：実金額は表記額の約1.8倍)

主な材料・労務	R3.3	→	R6.3	単価差	高騰倍率
・ コンクリート(18-8-40)	11,650 円/m ³	→	17,150 円/m ³	5,500 円/m ³	1.47 倍
・ 軽油	127 円/ℓ	→	150 円/ℓ	23 円/ℓ	1.18 倍
・ 土木一般世話役	22,400 円/人	→	27,300 円/人	4,900 円/人	1.22 倍
・ 普通作業員	17,600 円/人	→	19,800 円/人	2,200 円/人	1.13 倍

6

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R8(前回)→R9(変更)

- ・堅岩部掘削作業の増加に伴い、土工期間の延長が必要なため、事業期間を延長する。

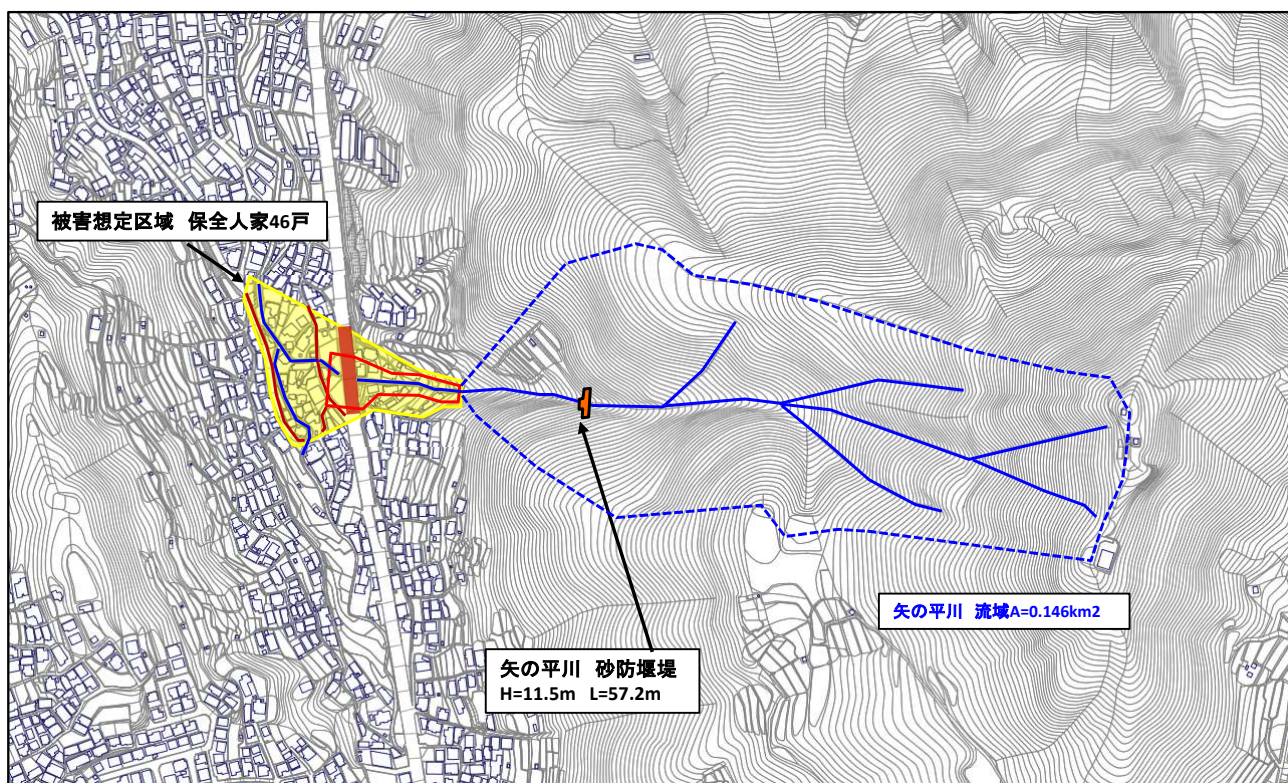
工程表

審議経過	概要	H24(補)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	増減理由	増減期間(年度)
第1回審議 (R3年度)	測量調査設計 用地交渉 工事																		
第2回審議 (R6年度)	測量調査設計 用地交渉 工事																	堅岩掘削の増	+1

7

5. 社会経済情勢等の変化

- ・ 特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。



8

6. 事業の投資効果

【B／C】4.41(前回)→ 3.33(現行)

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	5.85＝24.57億円／4.20億円	13.04＝25.20億円／1.93億円
全事業	4.41＝32.27億円／7.31億円	3.33＝30.11億円／9.03億円

〔費用〕

- ・砂防設備整備に要する事業費(工事費、用地費)、維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・砂防施設(えん堤工、溪流保全工)を整備することにより、人家・公共施設等が保全されることで発現する便益

〔プラス要因〕

- ・特になし

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増(掘削工法変更、労務費等の増)
- ・工期の延長(堅岩掘削の増)

〔その他の要因〕

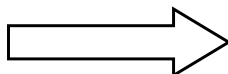
- ・特になし

9

7. 対応方針(原案)

- ◆ 保全対象の重要性、災害時の地域経済への影響を考慮した上でも事業継続の必要性がある。
- ◆ 用地進捗率は100%であり、工事にも着手しており、完了見通しも立っているため、早期に整備効果発現の見込みがある。
- ◆ 地元より早期の事業完成を求められている。
- ◆ 事業費の増額及び工期の延長はあるものの、費用対効果が十分見込まれる。

対応方針
(原案)



事業継続

10

事業再評価調書

事業名	事業間連携砂防等事業(地すべり)	地区名	寺坂	所在地	諫早市																																											
評価年度	令和6年	事業主体	長崎県	担当部課名	土木部砂防課																																											
事業概要	(1)事業目的 当地区は、地すべり危険箇所位置図けられており、平成23年8月末の豪雨により、国道251号の通行止め、及び付近住民の避難勧告が発令される地すべりが発生した。 また、地形的にも地すべりの履歴があり、地質的にも脆弱である中、地すべりにより家屋、国道、県道、二級河川等に甚大な被害をもたらす恐れがあることから、平成25年度より対策事業に着手しており、調査・観測工を継続しながら抑制工・抑止工等の対策工事を実施することにより、民生の安定を図ることを目的としている。 (2)主な事業内容 <table><tr><td>横ボーリング工</td><td>N= 74本</td><td>(101本)</td><td>L=</td><td>3,620 m</td><td>(3,030m)</td></tr><tr><td>集水井工</td><td>N=2基</td><td>(4基)</td><td>L=</td><td>28.5 m</td><td>(28m)</td></tr><tr><td>抑止杭工</td><td>N= 135本</td><td>(236本)</td><td>L=</td><td>2,797 m</td><td>(1,888m)</td></tr></table>					横ボーリング工	N= 74本	(101本)	L=	3,620 m	(3,030m)	集水井工	N=2基	(4基)	L=	28.5 m	(28m)	抑止杭工	N= 135本	(236本)	L=	2,797 m	(1,888m)																									
	横ボーリング工	N= 74本	(101本)	L=	3,620 m	(3,030m)																																										
	集水井工	N=2基	(4基)	L=	28.5 m	(28m)																																										
	抑止杭工	N= 135本	(236本)	L=	2,797 m	(1,888m)																																										
	着工年度		前回再評価年度	計画変更年度	完成予定年度		休止期間																																									
H25		R4	—	着工時	前回再評価時	計変時		再評価																																								
H25		R4	—	R2	R9	—	R9	—																																								
事業費	全体事業費(千円)				前年度まで	進捗率																																										
	着工時	前回再評価時	計画変更	再評価時	(千円)	(%)																																										
800,000		1,100,000	—	1,440,000	970,000	67.4																																										
事業の進捗	(1)整備効果の発現状況(供用開始など) D～Jブロックにおいては、地すべり変動に大きく影響を与えている地下水排除のため抑制工(横ボーリング、集水井、集水ボーリング、排水ボーリング)を施工しており、E～Hブロックでは施工後の排水効果が見られ、地すべり活動は確認されず安定した状態となっている。 (2)未着工及び工事遅延等の理由及び解決の見通し A～Cブロックにおいては、R2. 7とR3. 8の豪雨においても降雨に関連した動きを確認することはできず未対策であるものの安定した状態となっている。I、Jブロックは、抑制工後の排水効果は見られるものの変動は収まっておらず今後も引き続き対応が必要であるため調査・観測・対策工等を実施し、完全な地すべり活動の沈静化を目指す。 (3)関連事業の整備状況 関連事業は特になし。					評価	AA	・	A	・	B	・	C																																			
	社会・経済等の情勢及びその状況変化	(1)地元(受益者、市町村等)の意向 地元より、早期の事業概成を求められている。 (2)自然や生活環境保全の観点で特記すべき事項 特になし (3)事業が地域に及ぼす効果 地すべり地直下の保全対象として人家、国道、県道、二級河川等があり地すべりが発生した場合、直接的な被害はもとより河川に土砂ダムが形成され甚大な被害を及ぼすものと想定される。当該事業を推進することで、寺坂地区の安全、安心を確保することとともに、安定した社会経済活動に効果を発揮するものと考えられる。 (4)事業に関連する評価・指標等 <table><tr><td></td><td></td><td>前回評価時</td><td>再評価時</td><td>評価</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="2">必要性</td><td>受益面積</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>受益戸数</td><td>46</td><td>46</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>重要性</td><td>地元要望の有無</td><td>有</td><td>有</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>緊急性</td><td>緊急度合</td><td>国道、県道、二級河川</td><td>国道、県道、二級河川</td><td>高</td><td></td></tr><tr><td>経済性</td><td>投資効果</td><td>4.47</td><td>3.73</td><td>高</td><td></td></tr></table>							前回評価時	再評価時	評価	備考	必要性	受益面積			○		受益戸数	46	46	○		重要性	地元要望の有無	有	有	○		緊急性	緊急度合	国道、県道、二級河川	国道、県道、二級河川	高		経済性	投資効果	4.47	3.73	高		評価	AA	・	A	・	B	・
			前回評価時	再評価時	評価	備考																																										
必要性		受益面積			○																																											
		受益戸数	46	46	○																																											
重要性		地元要望の有無	有	有	○																																											
緊急性	緊急度合	国道、県道、二級河川	国道、県道、二級河川	高																																												
経済性	投資効果	4.47	3.73	高																																												
[土木部としての総合評価と対応方針]																																																
総合評価		事業継続		事業見直し継続		休止		中止																																								
総合評価に係るコメント																																																

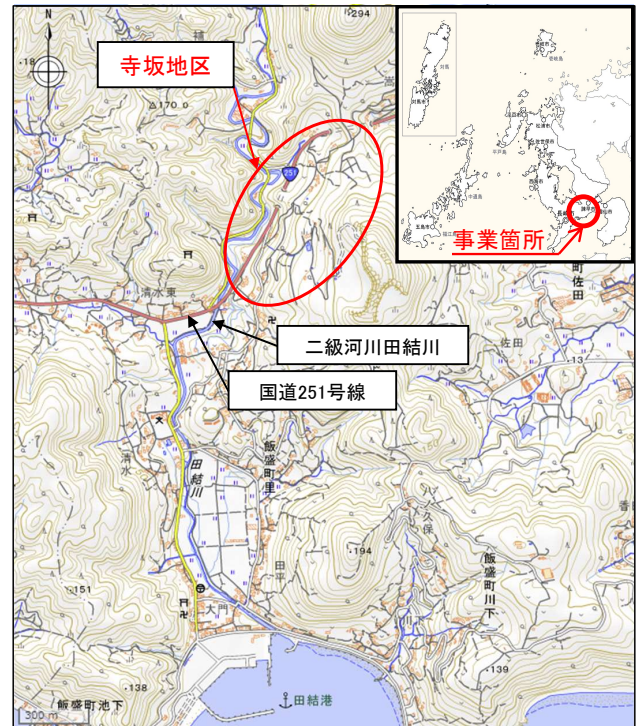
令和6年度 第2回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

砂防－3 事業間連携砂防等事業
(地すべり)
てらさか
寺坂地区

事業主体 長崎県

再評価
の理由 再評価後変更



1

1. 審議経過

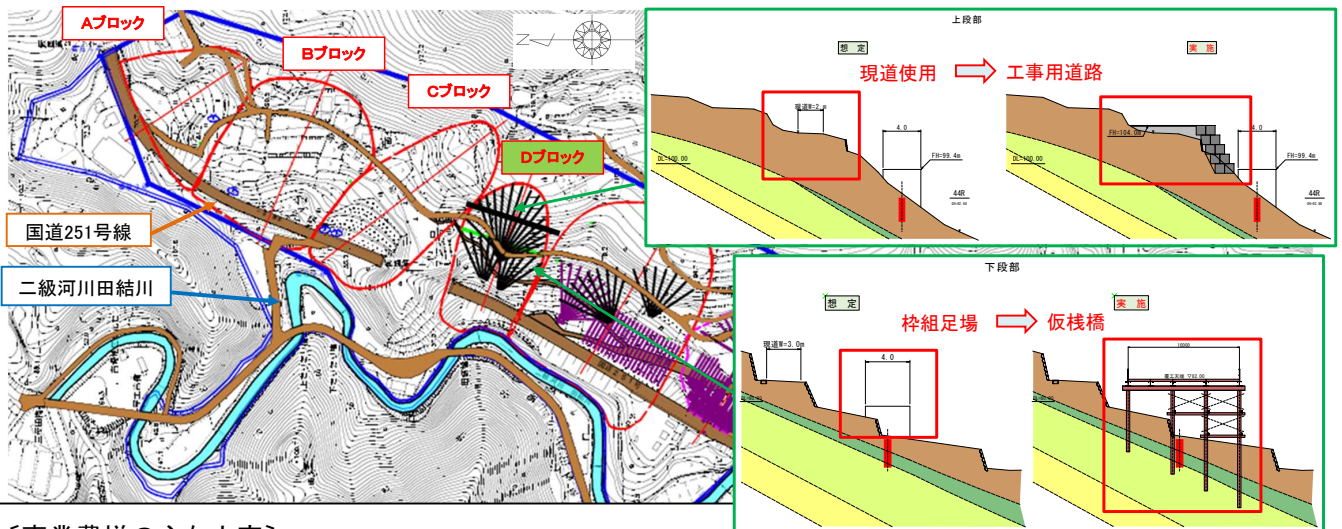
審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初 (H25)	—	H25	R2	8.0	4.49	【工事概要】 ・横ボーリング工 N=101本 (L=3030m) ・集水井工 N=4基 (L=28m) ・抑止杭工 N=236本 (L=1888m)
土木部内 報 (R2)	事業採択後 5年経過時の 土木部内報告	H25	R2	8.0	4.49	R2年8月の降雨からIブロックで新たに地すべり変動が観測されたため、R3年に追加で観測と解析を実施した結果、I・Jブロックで対策工を追加する必要が生じた。
第1回審議 (R4)	事業採択後 10年経過	H25	R9	11.0	4.47	【工事概要】 ・横ボーリング工 N=74本 (L=3620m) ・集水井工 N=2基 (L=28.5m) ・抑止杭工 N=135本 (L=2797m)
第1回審議 (R6)	再評価後変更	H25	R9	14.4	3.73	【工事概要】 ・横ボーリング工 N=74本 (L=3620m) ・集水井工 N=2基 (L=28.5m) ・抑止杭工 N=135本 (L=2797m)

2

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費増】 11.0億円（前回）⇒ 14.4億円（変更）

【事業完了年度】 令和9年度 変更なし



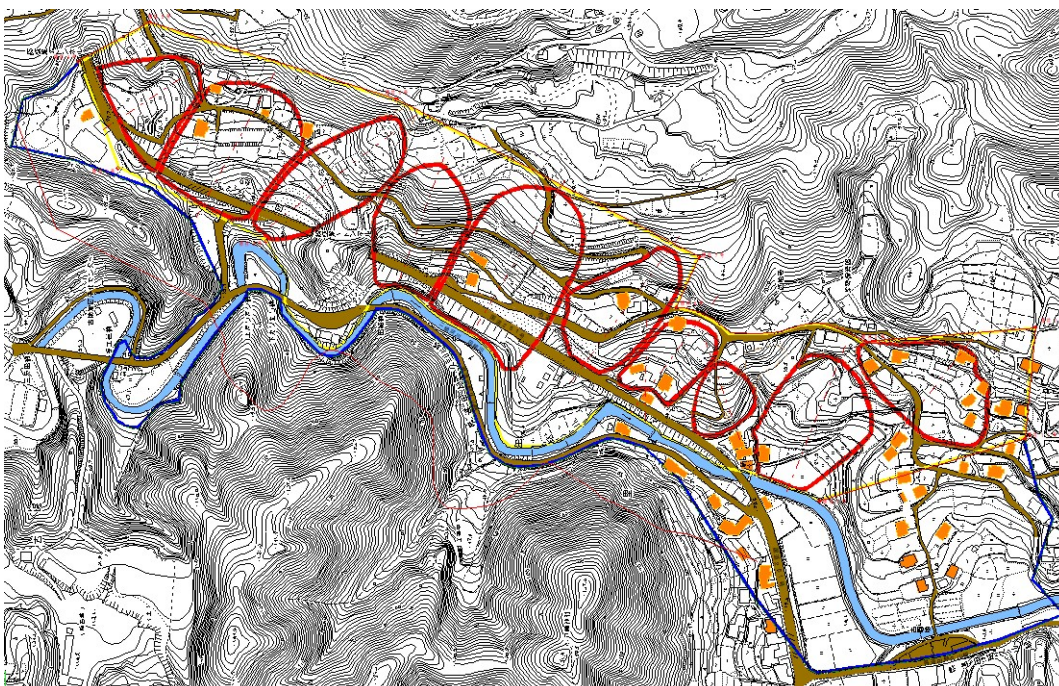
〔事業費増の主な内容〕

事業費増の内容	増額	主な増額理由
①仮設工の変更	約3.0億円	Dブロック現場条件による仮設工の変更
②労務単価等の増	約0.4億円	労務単価・資機材価格の上昇
計	約3.4億円	

5

5. 社会経済情勢等の変化

- 変化なし 保全対象人家(46戸)



6

6. 事業の投資効果

【B／C】4.47(前回)→ 3.73(現行)

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和4年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	12.48＝ 42.05億円／3.37億円	13.42＝ 43.21億円／3.22億円
全事業	4.47＝ 52.25億円／11.68億円	3.73＝ 53.28億円／14.29億円

〔費用〕

・砂防設備整備に要する事業費(工事費、用地費等)及び維持管理に要する費用

〔便益〕

・砂防施設(砂防えん堤等)を整備することにより、人家・公共施設等が保全されることで発現する便益

〔プラス要因〕

・特になし

〔マイナス要因〕

・事業費の増(仮設工の変更、労務単価等の増)

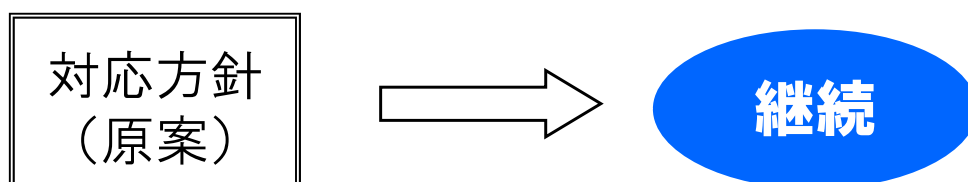
〔その他要因〕

・特になし

7

7. 対応方針(原案)

- ◆保全対象の重要性、災害時の地域経済への影響を考慮した上でも事業継続の必要性がある
- ◆用地進捗率は100%であり、工事にも着手しており、完了見通しも立っているため、早期に整備効果発現の見込みがある。
- ◆地元からも早急な地すべり対策事業の概成が望まれている。
- ◆事業費の増額はあるものの、費用対効果が十分に見込まれる。



8